

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和4年11月22日

施設名	県民文化ホール	所管課	文化生活スポーツ部文化国際課
-----	---------	-----	----------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	高知県立県民文化ホール共同企業体	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設所在地	高知市本町4-3-30		
事業内容	県民の明るく豊かな文化生活の向上に寄与するための文化事業の実施、及び音楽、演劇その他の催しのための場の提供を行う。 ・施設利用の許可等 ・ホール事業の企画等 ・施設及び設備の管理 ・その他ホールの設置の目的を達成するための業務		
施設内容	<建物>延べ床面積: 11,842.77㎡ 鉄筋コンクリート(一部鉄骨)地下1階地上4階 <土地> 5,288.15㎡ <主要施設> 大ホール(1507席)、小ホール(500席)、楽屋、リハーサル室、多目的室など <開館時間>午前9時～午後10時 <休館日> 12月29日～1月3日 <主な料金> ホール・多目的室は午前・午後・夜間・全日の別で料金設定		
職員体制	常勤職員: 27人	契約職員: 1人	非常勤: 2人 合計: 30人

※職員数は令和4年4月1日現在

## 2 収支の状況

単位: 千円

		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
収入	県支出金	178,913	171,569	125,181
	事業収入	53,908	93,963	149,128
	その他	1,800	7,222	2,939
	収入計(a)	234,621	272,754	277,248
支出	事業費	232,633	260,164	277,238
	(うち人件費)	(135,083)	(135,083)	(122,803)
	その他	0	0	0
	支出計(b)	232,633	260,164	277,238
収支差額 (a)-(b)		1,988	12,590	10

## 3 利用状況

		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	前年度比
① 年間利用者数 (単位: 人)	オレンジ	33,670 人	オレンジ 60,251 人	+ 26,581人
	グリーン	12,429 人	グリーン 16,606 人	+ 4,177人
	多目的室	46,151 人	多目的室 56,947 人	+ 10,796人
	計	92,250 人	計 133,804 人	+ 41,554人
	<利用実績> ・新型コロナウイルス感染拡大により利用者数が減少した。 オレンジ: 目標人数108,000人、達成率55.7% グリーン: 目標人数26,500人、達成率62.6% 多目的室: 目標人数48,000人、達成率118.6%			

<p>② 利用者意見等の反映</p>	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>①自主事業来場者アンケート  実施時期＝年間  実施方法＝来場者にアンケート用紙を配布  回答数＝各自主事業平均回答数約100  回答内容＝性別、年代、居住地域、来場動機、鑑賞希望ジャンルほか</p> <p>②来館者アンケート  実施時期＝年間  実施方法＝事務棟1階交流スペースにご意見箱を設置  回答数＝4  回答内容＝自由記述  主な自由筆記＝トイレの感染対策機能の増強希望他</p> <p>③利用者Webアンケート  実施時期＝令和3年4月1日～令和4年3月31日  実施方法＝施設利用者を対象とし、請求書にWebアンケートのQRコードを記載したご協力願いのカードを同封  回答数＝15  回答内容＝自由記述  主な自由筆記＝スタッフの対応満足度他</p> <p>○ 利用者意見等を踏まえた対策</p> <p>○ その他</p>
<p>③ その他特記事項</p>	

要求水準 1

施設及び設備の維持管理を適切に行い、安全かつ快適な利用環境を提供する

評価項目

- (1) 施設及び設備の保守点検等を適切に行うとともに、安全管理を適切に行い、故障や事故のない運営を行う。
- ・点検、修繕の実績
  - ・業務委託の状況
- (2) 災害発生時における利用者の避難その他の応急対策、及び津波避難ビルとして一時的に避難者を受け入れることについてあらかじめ検討し、必要な対策を講じる。
- ・風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策
  - ・マニュアルの作成
  - ・職員研修

評価	理由
B	・適切な施設及び設備の維持管理を行い、安全かつ快適な利用環境の提供に努めていることが認められる。

要求水準 2

利用者の満足度を高める運営により、施設利用の促進を図る

評価項目

- (1) 文化団体等が自ら行う音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、演芸その他の芸術及び芸能の公演・発表や練習の場として、またその他の文化活動の日常の活動拠点として利用しやすい運営を行い、県民の芸術文化活動の拠点施設としての利用を促進する。
- (2) 民間興行による公演、各種団体の会議その他の催し物の用に供する施設として、主催者が希望する施設の利用形態に応じて、利用しやすい環境とサービスを提供することにより、施設利用率の向上に努める。
- (3) 利用者のニーズや評価等に関する調査・分析を行い、その結果を生かして、施設の機能強化やサービス改善に努める。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の文化芸術の拠点施設として、利用者の立場に立ち、快適な環境とサービスに努めるとともに、利用促進のための情報発信や困難な案件の相談があった場合は対案を提案するなど利用向上に努めていることが認められる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに沿った対策を徹底するとともに、利用者の負担を軽減するよう努めていることが認められる。</li> </ul>

### 要求水準 3

質の高い芸術文化公演の企画・実施により、県民に優れた芸術鑑賞の機会を提供する

#### 評価項目

- (1) 地域の芸術文化の広域拠点施設として、大ホール及び小ホールそれぞれの規模にふさわしい音楽や舞台芸術などの公演を自主的に企画し、実施する。
- (2) 県民の多種多様な鑑賞ニーズに応えるため、幅広いジャンルから上質な作品をバランスよく上演する。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他館と共催、連携するなど工夫し、オペラ公演や将来性のある劇団の公演などを県内各地で企画・実施し、県民に芸術の鑑賞機会を提供したと認められる。</li> <li>・オンラインによる配信も併せて行うなど、コロナ禍においても鑑賞機会の拡大に努めている。</li> </ul>

### 要求水準 4

地域の創造力の向上に向けて、芸術文化を担う人材を育成する

#### 評価項目

- (1) 自主企画により上演される作品等をテーマや素材にして、芸術文化への関心を高め、理解を深めていく事業を行い、芸術文化振興の担い手となる観客を育成するよう努める。
- (2) 学校その他の教育機関で、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、演芸その他の芸術及び芸能の実演又は舞台設備、舞台音響、舞台照明等の効果的な運用操作などの舞台芸術に関する活動を行っている児童生徒を対象に、講習会の開催や発表機会の提供等を行い、次代の芸術文化を担う人材を育成するよう努める。
- (3) 指定管理者の自主事業として運営されているジュニアオーケストラの活動を継続し、芸術文化を通して青少年の健全育成を図るとともに、育成のための支援体制を充実させることにより、オーケストラとしてのレベルアップに努める。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも助成金を活用して大型公演を誘致することで県民に芸術文化に触れる機会を提供し、芸術文化振興の担い手となる観客の育成に努めたと認められる。</li> <li>・学校と連携し、児童生徒に公演等を鑑賞する機会の提供や講習会への講師派遣などを行い、次代の芸術文化を担う人材を育成したと認められる。</li> <li>・定期演奏会に加えて、公演前にロビーで歓迎演奏をする「ちょこっとジュニオケ」を本年度も継続して行い、人前で演奏する機会を創出し、青少年の健全育成とレベルアップに努めたことが認められる。</li> </ul>

要求水準 5

関係機関等との連携・協力により、芸術文化の振興を図る

評価項目

- (1) 芸術文化団体が企画する県民参加型の事業や、鑑賞団体が企画する一般の観客を対象とした公演を共催で実施するなど、県民の自主的な芸術文化の振興活動と連携・協力することにより、県民の芸術文化活動への参加の促進や、県民が優れた公演等を鑑賞する機会の拡大に努める。
- (2) 学校その他の教育機関及び芸術文化教育の推進を目的とする団体等との連携・協力により、児童生徒に対して質の高い芸術文化に触れる機会を提供する。
- (3) 県内の他のホールの職員等を対象に、ホールの企画運営や舞台技術に関する実践的な知識及び技術を習得するための研修の機会や、共同開催の公演を実施することによる企画運営等に関するノウハウを伝える機会を設けることによって、地域のホール運営の専門性向上に努める。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体と連携し、県民に対して知名度の高い団体による公演等を鑑賞する機会を提供し、県民の文化活動への参加を促進したことが認められる。</li> <li>・日本を代表するプロ合唱団である東京混声合唱団を招聘し、近隣の合唱部を招待するなど、児童生徒に対して芸術文化に触れる機会の提供や、芸術文化活動への参加を促進する取組が評価できる。</li> <li>・全国公立文化施設協会の中四国支部長館、高知県文化施設協議会の事務局を担い、ホール運営に関する情報等を県内文化施設に迅速に共有するなど、地域のホール運営の専門性向上に努めている。</li> </ul>

その他

評価項目

- (1) 社会的責任
  - ・法令等の遵守
  - ・個人情報
  - ・情報公開の状況

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的責任を自覚し、適切な管理運営がされたと認められる。</li> </ul>

評価項目

- (2) 利用実績
  - 利用実績の状況：利用状況の分析

評価	理由
B	<p>〈年間利用者数〉</p> <p>オレンジホール 目標：108,000人、実績：60,251人</p> <p>グリーンホール 目標：26,500人、実績：16,606人</p> <p>多目的室 目標：48,000人、実績：56,947人</p> <p>全体的に達していないが、適正な管理運営がされたと認められる。</p>

<p>評価項目</p> <p>(3) 収支の状況</p> <p>経営努力:収入増加の取り組み・経費削減の取り組み</p>
--

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍であっても補助金の活用による収入増や経費削減に努め、適正な管理運営がされたと認められる。</li> </ul>

### 総合評価

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においても他館と連携し幅広いジャンルの自主事業を行い、県内各地で芸術文化に触れる機会を創出した。また、地域のホール運営の専門性を向上させるサポートをした。</li> <li>・児童生徒に対してワークショップや活動支援を行い、質の高い芸術文化に触れる機会を提供した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し利用促進に努めたほか、補助金の獲得など収入増加に努め、経営努力にも取り組んでいる。</li> </ul> <p>上記により、要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされたと認められる。</p>

#### 評価基準

- 「A」 要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた。
- 「B」 概ね要求水準どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた。
- 「C」 要求水準に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要。
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえ、大いに改善を要する。